

ムーンショット型農林水産研究開発事業

「牛ルーメンマイクロバイオーーム完全制御による
メタン 80%削減に向けた新たな家畜生産システムの実現」

シンポジウム：牛の生産性向上とメタン抑制の両立の実現に向けて

趣旨

ムーンショット目標5では、「2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ、ムダのない持続的な食料供給産業を創出」の実現が目的となっています。この目的を達成するため、農林水産省では「ムーンショット型農林水産研究開発事業」を実施しております。私たちは、本事業で開発する「食料供給の拡大と地球環境保全を両立する食料生産システム」において、研究開発プロジェクト「牛ルーメンマイクロバイオーーム完全制御によるメタン 80%削減に向けた新たな家畜生産システムの実現」に取り組んでいます。この取り組みは、農林水産省の「みどりの食料システム戦略」においてもゼロエミッション達成に向けた取り組みの一つとして位置付けられております。このプロジェクトでは、牛などの反芻動物に特徴的な消化器官であり、草食を支える最も重要な器官でもあるルーメンの機能を徹底的に解明し、人類と競合しない飼料資源を最大限に活用することによる、無理・無駄のない畜産物の増産と大幅なメタン抑制を目指しています。

この度、本プロジェクトの目指す社会や、研究開発の狙いと内容を広く紹介するシンポジウムを開催します。

開催概要

日時：2021年10月7日（木） 13：00～16：00

形式：オンライン方式（300名規模）

主催：ムーンショット型農林水産研究開発事業：「牛ルーメンマイクロバイオーム完全制御によるメタン 80%削減に向けた新たな家畜生産システムの実現」（牛メタン削減コンソーシアム）

共催：生物系特定産業技術研究支援センター
国立大学法人北海道大学
農研機構畜産研究部門
一般社団法人日本科学飼料協会

プログラム

1. 開催挨拶

北海道大学 教授 小林 泰男

2. 挨拶

- ・国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 理事長 久間 和生
- ・国立研究開発法人 物質・材料研究機構 理事 花方 信孝

3. 講演

「ムーンショット目標5の達成に向けて」ムーンショット型農林水産研究開発事業プログラムディレクター（PD）

東京農工大学 学長 千葉 一裕

「プロジェクト：牛ルーメンマイクロバイオーム完全制御によるメタン 80%削減に向けた新たな家畜生産システムの実現」

ムーンショット型農林水産研究開発事業プログラムマネージャー（PM）

北海道大学 教授 小林 泰男

「乳牛の生産性向上とメタン抑制」

元東北大教授 寺田 文典

（プロジェクト課題での取り組み）

「乳牛のメタン抑制に向けたルーメン微生物研究」

農研機構 真貝 拓三

「新たなルーメン発酵モニタリングシステム」

物質・材料研究機構 副拠点長 一ノ瀬 泉

「飼料メーカーから牛メタン抑制に期待するもの」

日本科学飼料協会 理事長 竹中 昭雄

4. 期待のメッセージ

・海外からの期待

駐日アメリカ合衆国大使館 農務官 Zeke M Spears

駐日オランダ王国大使館 農務参事官 Denise Lutz

タイ王国 カセサート大学 教授 Suriya Sawanon

・行政からの期待

農林水産省農林水産技術会議事務局 研究調整官 松本 光史

・産業界からの期待

全農飼料畜産中央研究所 所長 米倉 浩司

・畜産関係機関からの期待

中央畜産会 副会長 姫田 尚

5. 総括

北海道大学 教授 小林 泰男

6. 閉会

【事務局】

農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門

乳牛精密管理研究領域

佐々木 修

e-mail : sasa1@affrc.go.jp

TEL:029-838-8654 FAX:029-838-8606

〒305-0901 茨城県つくば市池の台 2